

6月に入り、2017年度Ⅰ期の授業もちょうど半ばを迎えました。現ビズ2年生は今学期からグローバルビジネス専攻、地域ビジネス専攻、公共政策専攻のいずれかを選択し、各専攻別のカリキュラムに従った学びを始めました。今回は、各専攻必修科目を中心に紹介します。

授業紹介①「ボランティア体験A」

この授業は、地域社会に貢献する心を育み、現代の身近な生活の課題や地域社会の問題を理解しながら、社会参加を目指すものです。授業では、ボランティアの理念や活動に関する知識などを学び、その実践として、5月13日（土）に、稲美町立いなみ野水辺の里公園で行われた「親子で楽しむ食と自然のふれあい体験」に受講生のうち8名の学生がボランティアとして参加しました。小雨が降る中、スタッフの方々の指導を仰ぎながら、参加ご家族の受付対応、畑に建てる看板制作や芋苗の植え付けのサポート、観察日記の書き方の説明、後片付けなどを担いました。参加されたご家族や子どもたちのために、自分たちにできることを精いっぱいこなしました。今後は、7月22日（土）に同公園で開催される「そうめん流しとワイワイ夏祭り！」の企画、運営に携わる予定で、今はその準備を一生懸命に進めています。



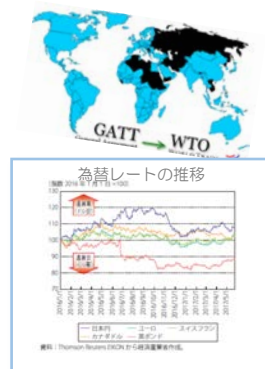
未来先どり！プロのお仕事ナビ

兵庫大学では、今年度の新企画として、5月28日（日）に、高校生対象に実社会での職業・仕事への理解を深める「プロのお仕事ナビ」を開催しました。現ビズは「ビジネス・商品開発」フィールドを担当しました。加古川市では、ご当地グルメ「加古川ギュッ（牛）とめし」による地域活性化を進めています。本学栄養マネジメント学科の学生が地元のパン屋さんと連携して「牛・ギュッとパン」を開発しましたが、商品開発に携わった学生の体験談を聞き、グループワークでは、現ビズの学生スタッフも一緒に食を通じた地域ビジネス化について考察しました。当日は、加古川市役所前広場で「加古川ご当地グルメフェスティバル」が開催されており、本学会場と現地を生中継をつないでの現地リポートや加古川市観光振興課職員の方へのインタビューもたいへん好評でした。



授業紹介② 「グローバル経済事情」

グローバル化社会、グローバル経済というと、とらえどころがないものようですが、これらについて具体的なイメージを持てるようになることを目指す授業です。授業の前半は、国際経済学、通商制度を扱う「理論・制度編」。授業の後に、友人や家族にも話を聞いてもらえるような知識を持ち帰られるように、やさしい言葉で解きほぐします。後半は、「各国地域情勢編」として、現在起きている具体的な問題（中国経済、テロ、難民など）を取り上げます。ここでは、受講生が具体的なイメージを持てるように映画などの資料も使用します。グローバルビジネス専攻の2年次必修科目ですが、他専攻の学生も選択科目として受講できます。



授業紹介③ 「地域政策」



この授業は、地域ビジネス専攻必修科目で、地域社会が直面する様々な課題とその解決策を地域活性化の視点から考えます。授業では、最近注目を集めているインバウンド、つまり外国人観光客のための「おすすめのモデルコース」を作成します。地域資源を活かした旅行プランは、マスコミや観光協会、旅行会社に提案していきます。また、出身地域で開催されている祭りの現状を調査した上で、「祭り開催による地域活性化」の具体策を提示します。

授業紹介④ 「修学基礎Ⅱ」

現代ビジネス学科の必修科目である「修学基礎Ⅱ」では、1年次の「修学基礎Ⅰ」および「プレゼンテーション」での学びを受け、大学での学修を支える文章力と表現力の向上を目指した講義・演習を行っています。前半には、論理的な文章の基本となる「パラグラフ」の概念を学び、マインドマップを使って広げた自分の関心事をパラグラフ・ライティングの形式で文章にしました。現在は、論理的な思考を鍛えるために有効とされるディベートマッチに取り組んでいます。テーマは学生自身の発案・投票によって決定した「カジノの導入の是非」「成人年齢引き下げの是非」「男性専用車両導入の是非」の3題です。前向きに取り組む学生の学修姿勢に、手応えを感じています。



今年度のオープンキャンパスが始まりました

2017年6月17日(土)18日(日)にオープンキャンパスを開催しました。現代ビジネス学科では、17日に「インスタントラーメンから経営戦略を考えてみよう」18日には「あなたの街を変える地域デザイン～キモチをカタチに、そして元気に～」というテーマの体験授業を行いました。今後の予定は以下の通りです。ぜひご参加ください。



7月22日(土)「観光ビジネスと魅力ある観光商品づくり」

7月23日(日)「地域の『おいしい』を発信しよう～食・農業のグローバル化について考えよう」

8月6日(日)「人工知能で働き方が変わる！私たちに求められる力とは？」